

ピンカシム火力発電所6号機増設事業



ピンカシム火力発電所

借款概要

承諾額/実行額	27,525百万円/25,089百万円
借款契約調印	1992年3月及び1994年11月
借款契約条件	金利2.6%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1999年3月及び2001年2月

事業概要

既設のピンカシム火力発電所の拡張として発電設備及び送電線を増設し、もって1993-94年度以降に予想されたカラチ電力供給公社（KESC）管内の電力供給不足を解消しようとするもの。

評価結果

本事業により増設された発電設備については、計画を上回る稼働実績を残しており、またピンカシム火力発電所内の他の発電設備との比較でも、最高出力・熱効率・利用率が高く、所内率は低いなど、新しい発電設備の稼働状況の良さが反映されている。

本事業により増設された発電設備はベースロードとしての安定稼働を続けており、1998年7月から2000年6月末までの2年間で、KESC管内の総供給量の13.6%を供給した。

同発電所の各発電設備に対しては分解検査が順次実施されており、本事業で増設された6号機の稼働状況や他のユニットについてもオーバーホール等適切な維持管理が行われていることから発電施設の稼働においては当面問題ないと思われる。ただし、KESCの収益収支は年々悪化しており、1995-96年度以降赤字続きとなっている。同国政府はKESCを含む同国電力セクターの構造改革に取り組んでいるところ、今後とも動向を見守る必要がある。